



## 婚活サポートコンソーシアム 第3回 定例会合 議事録

### I 概要

- ・ 報告者：株式会社 IBJ 田島
- ・ 日 時：2015年9月4日（金）10:30～12:00
- ・ 場 所：株式会社 IBJ 大会議室
- ・ 出席者（五十音順）

青山商事株式会社	長谷部様
アットホーム株式会社	今城様
株式会社エムティーアイ	日根様
株式会社クレディセゾン	横山様、原様、佐藤様
株式会社スリムビューティハウス	鈴木様
株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ	柴田様
ディップ株式会社	山田様
株式会社東進	飯田様
ビッグホリデー株式会社	小宮様
藤田観光株式会社	霜越様、米原様
プリモ・ジャパン株式会社	田邊様、清水様
三起商行株式会社	小川様
ミサワホーム株式会社	星野様
メディアエムジー株式会社	石丸様
株式会社 IBJ	石坂、小野、常見、月舘

### II 議題内容

1. 事務局長挨拶
2. 理事会 新規ご参画企業様の紹介
3. 第一回「婚活シンポジウム」開催報告
4. 共同調査報告
5. メインテーマ「独身でいることのデメリットについて」
6. その他 連絡事項

#### < 1. 事務局長挨拶 >

コメント：株式会社 IBJ 石坂

国は自治体とそれに関わる企業がどのような少子化対策を行ってくれるか非常に期待している。今回の婚活サポートコンソーシアムを通じて、皆さんで「独身でいることのデメリット」をテーマに少子化、未婚化問題について議論し、活発な意見を生み出していきたい。

## <2、 理事会 新規ご参画企業様の紹介>

コメント：株式会社スリムビューティハウス 鈴木様

各企業で協力、コラボレーションしながら少子化未婚化問題を解決し、日本を元気にしていきたい。

コメント：ビックホリデー株式会社 小宮様

婚活サポートコンソーシアムの取り組みに共感し、社会貢献をしていきたいと思い参加した。

コメント：株式会社東進 飯田様

少子化の影響を直接受けている。婚活サポートコンソーシアムに参加し、少子化に向けて対策を取っていきたい。

## <3、 第一回「婚活シンポジウム」開催報告>

コメント：株式会社IBJ 小野

第一回婚活シンポジウムが2015年6月21日（日）に開催され、154名の方にご参加いただいた。テーマは「『少子化・未婚化時代』に社会に応える企業とは」。このシンポジウムを通じて少子化・未婚化に取り組む婚活サポートコンソーシアムの認知度を高めること、参画企業を増やしていくことの二つの目的でこのシンポジウムを実施した。本理事会にて、シンポジウム後の各企業間の意識変革および行動実績を感想と共にお聞きしたい。

コメント：株式会社テイクアンドグヴ・ニーズ 柴田様

当社は設立18年となり、女性が非常に多い会社で、子供を抱えたママ社員の働き方が一番大きな課題になっている。シンポジウムは他の企業からの反響も大きく、非常に良い機会になった。

コメント：株式会社エムティーアイ 日根様

当社もテイクアンドグヴ・ニーズ様と状況が似ており、創立から20年経ち、女性社員の妊娠、出産が増えてきている。子供を抱えたママ社員の働き方が以前から課題になっていたが、今回シンポジウムに参加したことで当事者意識がかなり強くなり、社内の制度作りにドライブがかけられ、「ママ社員、パパ社員が働きやすい社内制度を作る会」を発足するに至った。

## <4、 共同調査報告>

### 調査内容、結果

「結婚後の住まい」について、ミサワホーム株式会社とIBJで意識調査を実施

男性52%、女性の64.5%が「持ち家に住むのは『結婚3年目』からが現実的」と回答。

「結婚後の出産・育児」について、株式会社エムティーアイとIBJで意識調査を実施

育児に自信がある男性は4割を超えるも、そのうち「女性がメインの育児」を理想とする男性は42.6%。

コメント：株式会社エムティーアイ 日根様

いつも妊娠を希望している既婚女性にアプローチしているが、今回は未婚の婚活男女がどういった意識をもっているか知ることができた。婚活をしている男女共に子供の事を考えている割合が高いのだが、そこには男女の考え方のギャップがあり、男性の理想的、楽観的な考え方に比べ、女性は自分が働くことや出産のことを考えていて、現実的でシビアな考えを持っていた。この考え方のギャップを男性会員さんにフィードバックし、男性が女性への寄り添い方を変えていくことで成婚率も上がるのではないかと感じた。

「婚活と結婚式」について、株式会社テイクアンドギヴ・ニーズとIBJで意識調査を実施  
男性が結婚式に意欲的な傾向あり。男性の59.2%が「結婚式にこだわりたい」と回答。

コメント：株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ 柴田様

結婚式を考えている婚活中のカップルへのアンケートは初めてだった。12～13年前と比べると、男性の結婚式への意識が強くなっているなと感じてはいたものの、実際に数字で見ることができて面白かった。結婚式の会社として、結婚を決めてからのカップルにアプローチをするのでは遅い、もっと早い段階から結婚式の意識、会場のアプローチをしていかなくてはと感じた。

#### <5、メインテーマ：独身でいることのデメリットについて>

コメント：株式会社IBJ 常見

「独身でいることでこんなデメリットがある」「今後こういったデメリットがあるのでは？」などを理事会メンバーの皆様と共有しつつ、各社様と議論をさせていただきたい。

#### 概要：

未婚の男性・女性共に、30～34歳の約2人に1人は未婚。

なぜ未婚率が高くなっているのか。結婚に対する意識の低下が原因の1つ。

独身のメリットは「今現在しか見ていない意見」、独身のデメリットは「未来を見た意見」というものが多い。

例)

独身のメリット：仕事に打ち込める、収入が全て自分のもの、趣味を自由に持てる、など

独身のデメリット：家庭を持つ幸福感を味わえない、自分のDNAを残せない、孤独死が心配、など

独身でいることは「孤独死・短寿命」につながるデメリットがあるのではないかと？

寿命・不自然死・孤独死・自殺・男女の平均寿命など、どの観点から数値を見ても独身男性が最も多い。

コメント：アットホーム株式会社 今城様

(孤独死について、実際に誰とも交流がない方がなくなっている例はあるのか？という質問について)

不動産業を行っているわけではないが、そういう方は一定割合にいると思う。

コメント：株式会社東進 飯田様

（子持ちの女性の職場進出は、男性の心身の健康にも大いに役立つのではないかと男性の結婚に対するメリットにも大きくはたらくのではないかとという質問について）

家庭は癒し。「お帰り」と言ってくれる人がいることが一定の癒しになる。

独身でいることは「今後、財政・TAXなどのデメリット」があるのではないかと？

日本は出生率対策もしていなければ移民対策もしていない。

欧米は、移民対策もしていれば、結婚していなくても子供が生める、という対策もしっかり取っている。

他国の多くは、戸籍制度を撤廃して国内に浸透させているため、出生率を改善させることができている。

日本はどうしてもそれができないため、日本の人口は自然減になっている。

日本は婚外子が差別的用語になってしまっている。それが大きな一歩を進めなくしている。

また、欧米に比べて日本は男性の長時間労働の割合も大きい。

日本は残業ありきになっている。＝家事・育児に充てる時間がない。

コメント：ビッグホリデー株式会社 小宮様

数値で見ると、色々我々が考えていかなければならないことが分かる。

フランスは「N分N乗方式」や婚外子対策でしっかりと出生率改善に繋げている。

コメント：株式会社 IBJ 石坂

フランスの所得税の減税をN分N乗と言うが、何故日本ではやって来なかったか調べていたところ、有る方が仰っていたのは「日本の所得税が低過ぎることが原因ではないか」というものだった。例えば、年収800万円の人の所得税率は2.6%程度。つまり日本の場合、これ以上控除できない。どうにかしなければならぬが、低所得者層に増税してしまうと、日本の場合は相当の批判が起きるため、なかなか上げられない。だから消費税ができた。独身税と言う議論もあるが、さすがにそういうネーミングでは課税はなされないのではないか？と思っている。

婚活サポートコンソーシアムとして「一企業」としてできることは、

- ・ 残業禁止＝恋人と過ごす時間や家族のもとに帰ることができる時間を積極的に作る。
- ・ 有給休暇取得の奨励を実施する。
- ・ かけた時間ではなく、生産性を評価していく＝残業ありきにしない。

コメント：藤田観光株式会社 霜越様

弊社では、ノー残業デーを作って積極的に取り組んでいる

婚活サポートコンソーシアムとして「企業間」としてできることは、

- ・理事会メンバーでお見合いパーティを定期開催
- ・理事会メンバーの社員に対して共同調査を実施
- ・エムティーアイ様やテイクアンドグヴ・ニーズ様で実施の婚育・妊活企画を理事会メンバー間で実施

コメント：IBJ 常見

引き続き、こういった取り組みを含めて、婚活サポートコンソーシアムを盛り上げていきたい。

#### <6、 その他連絡事項>

第4回定例理事会は2015年12月上旬に実施予定。内容は、2016年上期に向けた展望、共同調査報告を、現在のところ予定。

以上